

カリキュラム区分		5カリ		シラバス区分		大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M320	1年	前期	医療技術科学	選択	血液病態検査学特論 Specialized Theory of Laboratory Hematology	30	2
担当教員								
竹内 一人	石田 也寸志	祇園 由佳						
関連するDPキーワード（看護学専攻）								
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。							
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。							
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）								
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。							
	○ ② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。							
	○ ③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。							
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。							
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。							
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。							
授業目的								
血液疾患は、血液自体に病変を含んでいる場合が多く、血液検査が診断に直結する場合も少なくない。本特論では、貧血、炎症性疾患、造血器腫瘍および血栓止血異常症について成因および病態を追求し、疾病の本態についての理解を深めるために、それらの疾病の血液形態学的、免疫学的検査法および病態解析法を学習する。血液疾患の早期発見や治療に役立つ検査法について学び、臨床応用するための専門性を身につける。								
到達目標（授業目標）								
① 貧血、炎症性疾患、造血器腫瘍について理解し説明できる。								
② 血栓止血異常症について理解し説明できる。								
③ 小児の血液疾患、造血幹細胞移植、輸血・細胞療法について理解し説明できる。								
授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
回								
1回	総論（造血システム）・血球の産生・崩壊とその制御について講義する。・祇園 由佳							
2回	総論（造血器腫瘍の発症）（1）・白血病幹細胞と遺伝子異常について講義する。・竹内 一人							
3回	総論（造血器腫瘍の発症）（2）・骨髄系腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の発症機構についてについて講義する。・祇園 由佳							
4回	総論（血液疾患の診断・臨床検査）（1）・主要症候と検査値異常の解釈について講義する。・竹内 一人							

5回	総論（血液疾患の診断・臨床検査）（2）・末梢血・骨髓穿刺/骨髓生検、細胞抗原検査等について講義する。・祇園 由佳						
6回	各論（貧血）・鉄代謝異常、骨髓不全、溶血性貧血について講義する。・竹内 一人						
7回	各論（造血器腫瘍と関連疾患）（1）・造血器腫瘍の分類について講義する。・竹内 一人						
8回	各論（造血器腫瘍と関連疾患）（2）・骨髓系腫瘍（急性骨髄性白血病、骨髓異形成症候群、骨髓増殖性疾患等）について講義する。・竹内 一人						
9回	各論（造血器腫瘍と関連疾患）（3）・悪性リンパ腫、多発性骨髄腫と類縁疾患について講義する。・竹内 一人						
10回	各論（出血・血栓性疾患）・血小板および凝固線溶因子の異常（播種性血管内凝固症候群等）、血栓性素因（抗リン脂質抗体症候群等）について講義する。・祇園 由佳						
11回	各論（小児血液疾患）（1）・小児の急性白血病について講義する。・石田 也寸志						
12回	各論（小児血液疾患）（2）・小児のリンパ腫について講義する。・石田 也寸志						
13回	各論（造血幹細胞移植）（3）・小児の造血幹細胞移植について講義する。・石田 也寸志						
14回	各論（造血幹細胞移植）（4）・造血幹細胞移植後の合併症とQOLについて講義する。・石田 也寸志						
15回	各論（輸血・細胞療法）（5）・小児の輸血療法と細胞療法について講義する。・石田 也寸志						
16回							
17回							
18回							
19回							
20回							
21回							
22回							
23回							
24回							
25回							
26回							
27回							
28回							
29回							
30回							
成績評価方法及び基準							
課題レポートおよび発表内容などを併せて総合的に評価する。 竹内担当分野40%、石田担当分野35%、祇園担当分野25%で 評価は100点満点とし合計60点以上を合格とする。							
教科書	適宜、論文及びプリントを配布する。						
参考図書等	カラーテキスト「血液病学2」中外医学社						
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）							
予習・復習が必要な場合は、その内容について随時指示を出す。							
関連科目							
前科目	M106	疾病制御学特論	M107	英文文献講読	M318	病態情報解析特論	
後科目	M319	病態情報解析演習	M321	血液病態検査学演習	M322	特別研究Ⅰ	
実務家教員							
医師（医療機関）	竹内 一人		石田 也寸志				
臨床検査技師（医療機関）	祇園 由佳						
備考							